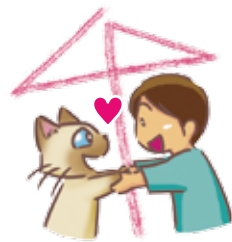


5 マッチングについて

譲渡を受けてから、動物の気質・性質などが新たな飼い主の生活スタイルに合わず、「こんなはずじゃなかった」とならないために重要なのが、マッチングです。成犬、成猫はもちろん、子犬、子猫にもそれぞれ個性があります。見た目や種類だけで判断せず、飼育環境やライフスタイル、家族構成などを冷静に考え、個々の動物の気質・性質とよく照らし合わせたうえで、自分に合った動物を選びましょう。



猫のマッチングのアドバイス・・・性質別のマッチングをしましょう

活発な猫の場合

家族が多く、猫に時間を割き、かまってあげられる家庭向きです。高齢者だけの静かな家庭、遊びに時間を多くとれない家庭では、エネルギーの発散不足で、甘噛みや遊びでのひっかきがエスカレートする可能性も高くなります。



ノーマルな猫の場合

比較的どんな家庭でも大丈夫です。ただし、猫は新しい環境になれるのが苦手な動物なので、新しい家ではなかなか慣れてくれない場合もあります。無理をせずにゆっくりと様子を見守りましょう。



シャイな猫の場合

子供のいない、静かな大人だけの家庭の方が向いています。ゆっくりと気長に根気強く、猫になれるまで穏やかに接してくれる人や、猫と暮らした経験が豊富だったり、同じようなタイプの猫と暮らした経験がある人がいいでしょう。



■高齢者の家庭には……

犬に比べて猫は高齢者でも比較的飼いやすいペットです。ただし、猫の寿命を考え、病気や入院などで世話ができなくなった時に備えて、後見人的存在(家族や知り合い)をあらかじめ決めておくことが必要です。また、子猫よりは、人懐っこく安定した性質の成猫の方が飼いやすいでしょう。

■子猫か成猫か迷っている家庭には……

子猫は非常に活発で遊び好きなため、遊び欲求を満たすことができないと問題行動につながることもあります。成猫は子猫ほど活発ではないことが多いので扱いやすく、性質が安定しているという良い点があります。夫婦共働きなど留守番時間が長い家庭では、月齢が同じくらいのきょうだい猫や相性の良い猫2匹を一緒に迎えると、猫同士で遊んでエネルギーを発散し、退屈せずに暮らせるでしょう。ただし、雌雄の組み合わせの時は、不妊去勢手術を済ませておくことも重要です。

■すでに先住猫のいる家庭には……

先住猫が猫に対してシャイで、子猫の時に他の猫との接触する経験が少なかったようなら、新たな猫を迎えることは見合わせたほうがいいかもしれません。トライアル期間(試しに飼ってみる期間)を設けて、猫同士の関係を見るのも一つの方法です。新たな猫が子猫だと、先住猫が受け入れやすい場合が多いようです。

